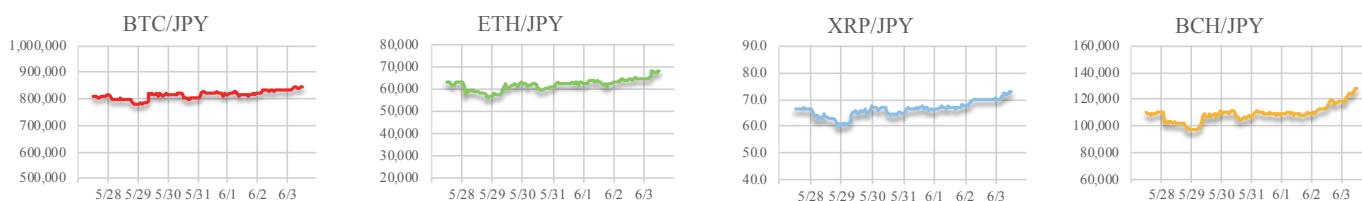


主要通貨相場動向



相場回顧 BTCは前週の下落を受け買い戻し優勢の展開

BTCは前週の下落を受けて買い戻し優勢の展開となった。78万台を記録して以降、BitfinexやBitmexといった大手取引所では大口ロングが入ったとの情報もあり、緩やかな上昇を続けている。ETH, XRP, BCHはフィアット、BTC建てともに上昇。ETHはParityのCasperテストネットローンチが材料として見られた。BCHはRoger氏の「日本のコンビニにBCH決済導入」との煽り発言が影響してか、他通貨対比強い動きとなった。その他、Amazon決済サービスAvacusへの対応も材料として挙げられる。

	BTC/JPY	ETH/JPY	XRP/JPY	BCH/JPY
28-May	798,694	58,660	63.30	102,440
29-May	815,255	61,299	64.95	107,031
30-May	807,230	60,704	64.60	106,518
31-May	822,429	62,661	66.55	109,465
1-Jun	816,973	63,585	67.47	108,886
2-Jun	833,414	64,356	70.15	113,778
3-Jun	844,272	68,053	73.4	128,536
前週末比	4.41%	7.87%	9.91%	17.00%

※終値を日本時間0:00とする

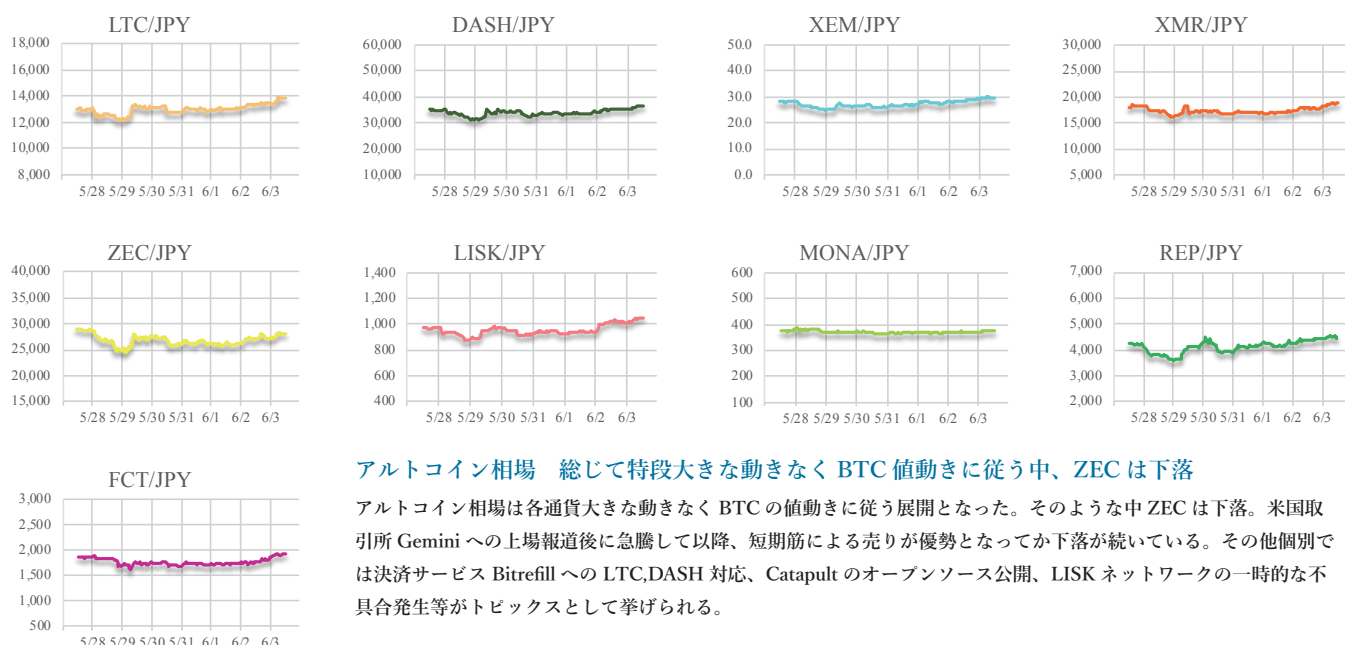
先週の主要トピックス

- ・韓国取引所Bithumb、イラン・北朝鮮等11カ国での取引禁止を発表。(5/28)
- ・Weiss Ratings、93通貨の暗号通貨価格付リストを公表。(5/29)
- ・ニューヨーク州、暗号通貨のタスクフォース設置を検討。(5/30)
- ・スペイン議会、イノベーション促進の暗号通貨規制案を支持。(5/30)
- ・TRX、独自ブロックチェーンのβ版をリリース。(5/31)
- ・テックビューロ、mijin v.2 (Catapult) をオープンソース化。(5/31)
- ・中国取引所Huobi.Pro、暗号通貨ETFの「HB10」を発表。(6/1)
- ・エストニア、Estcoinプロジェクトの縮小を決定。(6/1)
- ・中国取引所Binance、10億ドル規模の暗号通貨ファンド設立計画公表。(6/1)

Pick-up News『サブカルイベント Ai Fes 開催を発表』

2018/6/17に東京のHYPERMIX B1F underbeatにおいて、Ai Fesというサブカルイベントが開催されることが発表された。当日のコンテンツとして、株式会社AMPLEが独自開発した暗号通貨Ai Coinによるクリエイターへの投げ銭体験イベントが企画されている。日本にはMONAやNANJをはじめ通貨自体に特別な設計は無いものの、コミュニティコインとして人気を集めるものが見られる。日本では、まずはこのようなサブカル分野で暗号通貨の実用化が進んでいくのかもしれない。

その他アルトコイン相場動向



アルトコイン相場 総じて特段大きな動きなくBTC値動きに従う中、ZECは下落

アルトコイン相場は各通貨大きな動きなくBTCの値動きに従う展開となった。そのような中ZECは下落。米国取引所Geminiへの上場報道後に急騰して以降、短期筋による売りが優勢となってか下落が続いている。その他個別では決済サービスBitrefillへのLTC,DASH対応、Catapultのオープンソース公開、LISKネットワークの一時的な不具合発生等がトピックスとして挙げられる。

・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。
 ・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。